別紙（参考様式）

令和5年度　体育に関する指導改善計画

海田町立海田 小学校

令和4年度の重点課題

情意面での課題

○第5学年男子
運動やスポーツをすることがややきらい，きらいと答える児童の割合は，5.4%であった。
○第5学年女子
運動やスポーツをすることがややきらい，きらいと答える児童の割合は，0%であった。

体力面での課題

○第5学年男子
「握力」「長座体前屈」「50m走」が，県平均値かつ全国平均値より低い。
○第5学年女子
「握力」「長座体前屈」「反復横跳び」「50m走」が，県平均値かつ全国平均値より低い。
○学校全体
「握力」「50m走」において記録が低く課題がみられる。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○大休憩の外遊びの奨励，鬼ごっこ等を運動委員会の活動と併せて行い，児童が主体的に運動するよう促した。

○児童に目標を持って運動に取り組ませる活動として，持久力アップを目指した「完走大会」，縄跳びの技術力アップを目指した「縄跳び検定」，走力や跳力アップを目指した「海田町陸上記録会や安芸郡陸上記録会」に取り組んだ。

○児童・保護者の運動への関心を高められるように，学期ごとに，水泳の記録，完走大会の記録，縄跳び検定の記録を記入する「体力の記録」を家庭へ配付した。

○夏休みと冬休みにおいて，体力アップ貯金カードに取り組み，継続的に運動に取り組ませた。

令和5年度新体力テストの結果　県平均値（令和4年度）・全国平均値（令和3年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.00	21.32	33.26	41.79	49.65	9.58	149.23	25.00	53.62

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.29	20.79	37.96	40.43	37.11	9.76	145.61	15.46	56.04

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果　県平均値（令和5年度）・全国平均値（令和4年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.00	21.32	33.26	41.79	49.65	9.58	149.23	25.00	53.62

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.29	20.79	37.96	40.43	37.11	9.76	145.61	15.46	56.04

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	67.57	29.73	2.70	0.00

女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	55.56	29.63	7.41	7.41

学校独自の意識調査

運動やスポーツをすることは好きですか
・第1学年　好き・やや好き　95%　ややきらい・きらい　5%
・第2学年　好き・やや好き　94%　ややきらい・きらい　6%
・第3学年　好き・やや好き　93%　ややきらい・きらい　7%
・第4学年　好き・やや好き　96%　ややきらい・きらい　4%
・第6学年　好き・やや好き　84%　ややきらい・きらい　16%

重点課題

情意面での課題

○第5学年男子
運動やスポーツをすることがややきらい，きらいと答える児童の割合は，2.7%であった。
○第5学年女子
運動やスポーツをすることがややきらい，きらいと答える児童の割合は，14.8%であった。

体力面での課題

○第5学年男子
「握力」「長座体前屈」「反復横跳び」「50m走」「立ち幅跳び」
○第5学年女子
「握力」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○準備運動の中に，児童が楽しく取り組むことのできる活動を取り入れる。
・体ジャンケン
・2人組での柔軟＆ひざタッチ鬼
・3人1組でトナカイとサンタ　等

体育の授業以外で行う取組内容

○校内・校外体育的行事を活性化したり，児童が運動に関する目標を持てたりする取組を推進する。
○大休憩の外遊びの奨励，鬼ごっこ等を委員会活動として行い，主体的な運動を促す。
○月に1度のロング昼休憩を実施し，外遊びを奨励する。

令和6年度の重点目標値

○新体力テストの総合評価がC以上のの割合を80%以上にする。（令和5年度69%）
○「握力」「50m走 」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
○運動やスポーツをすることが好き・やや好きと答える児童の割合を90%以上にする。（令和5年度90%）